

平成26年度 第21回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成26年11月19日(水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：栃尾 尚哉 先生 (クロマチン動態数理・特任講師)

演題：核磁気共鳴(NMR)法でわかること

要旨：タンパク質の立体構造を決定する方法には主として2つの手法があります。ひとつはX線結晶解析法であり、もうひとつは核磁気共鳴(NMR)法です。X線結晶解析法は、X線をタンパク質結晶にあてた際に生じる回折の位置と強度から元の結晶構造(電子密度)が分かるんだらうな、というのがその名称から想像できるのに対し、核磁気共鳴法の場合、多くの人にとっては、その名前から色々と想像することは難しいように思います。そこで、本セミナーでは、核磁気共鳴法という名称の意味からはじめ、核磁気共鳴法が「どうやって」、「何を見て」、「どんなことに役に立つ」のかを紹介し、「核磁気共鳴法とは磁気の性質を利用して分子を見る手法である」ということを理解していただければ幸いです。